

カブスカウトの装備



ようこそくりはちへ。

ここではカブスカウトの装備について
見ていきましょう。

制服

- スマートネス(身なりがきちんとしていること)
スカウトはスマートであることが重要です。
集会では、集合すると、制服をきちんと着ているか、チーフがきちんと巻かれているかなど
一人一人チェックされます。



チーフの巻き方(1)

チーフはどうしても汚れます。
洗濯、アイロンをお願いします。

全体のアイロンが終わったら、底辺の部分を1、2回 内側に折り曲げてアイロンを当てておきます。



チーフの巻き方(2)

②そこから細く巻いていきます。2人でするとうまく巻けます。



③出来上がりです。



このまましまっておけば、
すぐ使えます。



活動着(1)

セレモニーの時は年間通して制服にならないければなりません。でもセレモニーが終われば脱いでTシャツで活動しても良いのです。

制服の下にTシャツを着せてお家から送り出してください。

(セレモニーとは、始まりの会と終わりの会のことです)



活動着(2)

■ 防寒着

寒いと感じたら、制服のショートパンツの上からジャージかウインドパンツをはき、ジャンパーを着せてお家から送り出してください。ジャンパーの前ファスナーを閉めるのが苦手なお子さんでしたら、プルオーバーでも良いのです。



活動着(3)

キャンプの際、着替えに活動着としてジーンズを用意されるのは、あまりおすすめできません。水分を吸うととても重くなり、なかなか乾きません。野外で服を濡らすことは、雨だけでなく、霧、草地の朝露など、多いものです。ジャージは化繊ですから濡れてもすぐ乾き、伸縮性があって動きやすくおすすめです。





持ち物

持ち物には名前を書いてください。お子さんは、自分の手から離れてしまうと、自分のものかどうかは分からなくなります。

■ カブ弁当

残さず食べられる量のおにぎりです。
おかずとしてお持ちいただいて良いのは
つけものだけです。

スカウトは質素をモットーとするため、
日本中ほぼこのように決まっています。

■ 雨具

上下別になったものをおすすめします。

山では雨が降ると同時に風が吹くことが多く、
雨が下から降ることもありえます。

ひざ丈のレインコートやポンチョはあまり
おすすめできません。

写真のものは襟にフードが入っており、靴をはいた
ままはけるようパンツの裾にファスナーが
ついています。このような雨具は防寒着にもなります。
袋が付いていることが多いですが、すぐ着られる
よう上着だけ袋から出してナップサックに
詰めましょう。



(サイズ: 身長130cm)



■ 水筒

いつも使っているもので結構です。

登山やハイキングのときの水分は、ペットボトルを活用し、ナップサックに入れて背負えばとても楽です。

ただし、キャンプ時は熱いお茶を配りますのでペットボトルは禁止です。

注：ペットボトルは容器の活用で、中身の飲料の購入を勧めるものではありません。



キャンプの装備

■ パッキング（荷造り）

カブスカウトのキャンプは、レジャーでなく訓練です。パッキングからすでに訓練は始まっています。必ずお子さんの手で行ってください。そうでないと、お子さんは、キャンプ地で必要なものをすぐに取り出すことができません。

■ ザック

子どもの林間学校用として売られているものをおすすめします。写真のザックの中には子供用シュラフ(スリーシーズン、封筒型)も含めて、2泊3日の装備が入っています。このようにコンパクトにパッキングできれば、両手が空き、とても楽です。



■ ザック

写真のような形のザックをお子さん用に購入するのは避けましょう。これは大人が山小屋泊やテント泊をしながら山中を移動するためのもので、お子さんには使いづらいからです。



■ シュラフ

お家にあるもので結構です。



封筒型



マミー型

個人装備として新たに購入されるならマミー型でスリーシーズン対応、化繊素材のものをおすすめします。

最も軽くコンパクトになるのは中綿がダウンのものですが、高価で手入れも大変です。

■ シュラフ

写真は、マミー型、スリーシーズン対応、
生地がポリエステルタフタ、
中綿がポリエステル中空糸の
シュラフを付属のバッグに
入れたところです。
軽くコンパクトでザックに入り、
丸洗いでできてすぐ乾き、
価格も手ごろです。



大人用です



■ シュラフ

スリーシーズンで綿(わた)が少ないのではと思われるものでも、通常使うキャンプ場は毛布が借りられ、敷きマットと掛け毛布として使用しますので心配いりません。

枕を持ってくるお子さんもいますが、パッキング上達のためには、どうしても必要なものとそうでないものを分けて考えることが必要です。タオルなどで代用できないでしょうか。

■ 食器

飯碗、汁碗、皿、コップが必要で、耐熱性のある樹脂製のものならどんなものでも良いです。アウトドア用に、金属製のものが売られていますが、熱くなるのでお子さんには不向きです。



■ 懐中電灯

お家にあるものをお使いいただければ
良いのですが、
お子さん用にひとつ
購入されるのであれば
ヘッドライトをおすすめ
します。



■ お米

一合ごとに袋詰めをお願いします。

スキーの装備

スキー訓練を行うことがあります。
スキーウェア、スキー用手袋、帽子が必要です。
出かける前にはこのすべてに防水スプレーを
してください。スプレーは必ず戸外でしてください。
他にはゴーグルも必要です。
最初は装備の着脱が難しい
かもしれません。少しお家での
練習をお願いします。



おわり



野外には、限られたもののしか持っていきけません。
どんなものを持っていくかは大人でも大きな課題です。
必要なものを理解し、荷物を軽くコンパクトにするための
工夫ができるよう、いっしょに考えていきましょう。